

令和7年度使用教科用図書調査専門委員会 調査研究報告書 観点・着眼点（ 種目名 社会・歴史的分野 ）

観 点		着 眼 点
1	学習指導要領との関連	日本の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するための工夫の程度はどうか。
		歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色について、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目するための工夫の程度はどうか。
		日本の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養うための工夫の程度はどうか。
2	「コンパスぷらん（第4期名古屋市教育振興基本計画）」との関連	「自分に合ったペースや方法で学ぶ」ことができるような工夫・配慮の程度はどうか。
		「多様な人と学び合う」ための工夫・配慮の程度はどうか。
		「夢中で探究する」ための工夫・配慮の程度はどうか。
3 内 容	(1) 内容の選択	人権の尊重や教育の政治的中立に関する配慮の程度はどうか。
		地理、公民との関連の分かりやすさの程度はどうか。また、日本の伝統・文化や社会の変化に適応した内容の適切さはどうか。
	(2) 内容の程度	日常生活・実社会に関連付けられるような記述や教材の充実についての程度はどうか。
	(3) 内容の構成	補充的な学習や発展的な学習の内容の扱いやすさや分量の適切さはどうか。
4	タブレット端末の活用	タブレット端末を活用して学習の効果を高めるための工夫の程度はどうか。
5	表記・表現及び使用上の便宜等	本文と注・写真・地図・年表・図表等の関連付けの適切さはどうか。また、目次・索引・注・凡例・諸表・資料等の適切さはどうか。
6	印刷・造本等	「ユニバーサルデザイン化の観点から印刷の鮮明度、文字の大きさ、書体、色彩等」、「造本の堅ろうさや体裁」、「再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮」など印刷造本等の工夫の程度はどうか。

令和7年度使用教科用図書 調査専門委員会 調査研究報告書（種目名 社会・歴史的分野 1／2）

観点	発行者		東京書籍		教育出版		帝国書院		山川出版		日本文教	
	評価		評価	特徴	評価	特徴	評価	特徴	評価	特徴	評価	特徴
1 学習指導要領との関連	○		○	日本と世界とのつながりについてマルコポーロの東方見聞録を資料として載せることで、当時の日本の様子を世界の歴史を背景に考えられるように配慮している。	○	章導入部の年表に、中国と朝鮮の王朝を合わせて記載し、「学習のすいよう」で中世の出来事や文化の発達について理解できるように工夫している。	○	元寇について、見開きの地図を掲載してモンゴル帝国の広がりやマルコポーロの行路などを示すことで、日本と世界とのつながりを意識できるように配慮している。	○	13世紀の世界の様子を見開きで、地図やイラストを掲載して示すことで、世界の歴史を背景に歴史の大きな流れを理解できるように工夫している。	○	中世の導入ページに時代の特色を表す大判の絵画資料や写真、年表があり、歴史の大きな流れを理解できるように工夫している。
	○		○	モンゴル帝国の広がりを現在の地図と比較して考えられるようにするなど、歴史的事象と現在とのつながりに着目できるよう工夫している。	○	中世に武士が台頭し活躍したことを、貴族が活躍した古代と比較しやすいように、前章末のまとめと章頭の扉絵を見開きで対比して配置するなどよく工夫している。	○	タイムトラベルのページを設定し「見方・考え方」のアイコンを用いて鎌倉時代と平安時代の様子を比較するなど、各時代の特色を捉えられるように配慮している。	○	本文において、時期や年代、伝統や文化の特色についても詳細に記載し、歴史的事象の因果関係を考えられるように配慮している。	○	中世の導入部の「トライ」の活動では、時期や推移、つながりなどに着目して生徒の活動を支援できるように配慮している。
	○		○	室町時代の文化を扱う際に、無形文化遺産のマークを記載したり、琉球文化の特設ページを設けたりするなど、文化遺産を尊重する大切さを伝えられるように工夫している。	○	室町時代の文化を扱う際に、資料に世界遺産や国宝、重要文化財を示すマークを記載するなど、文化遺産を尊重する大切さを伝えられるように配慮している。	○	金閣や銀閣等の室町時代の文化を紹介する特設ページを設定し、文化遺産を尊重することの大切さについての自覚を深められるよう工夫している。	○	室町時代の文化を扱う際に雪舟の水墨画と中国画を比較することで歴史上の人物と文化遺産を尊重する大切さを伝えるよう配慮している。	○	写真資料を多く用いて、北山文化と東山文化の違いを捉えやすくとともに、「先人に学ぶ」では枯山水等の伝統文化について紹介することで、文化遺産の尊重に配慮している。
2 「コンパスがらん（第4期名古屋市教育振興基本計画）」との関連	○		○	章、節、1単位時間ごとに3段階の構造化された間に加えて、章の導入でキーワードを示して見通しをもって取り組むことができるように工夫している。	○	章、節、1単位時間ごとの構造化された間に加えて、章の導入でキーワードを示して課題解決的な学習に見通しをもって取り組むことができるように工夫している。	○	構造化された間に加え、各章の導入において、前の章と比較し、社会の変化を予想するなど単元の学びを見通す活動を行うことができるように工夫している。	○	見開きに1単位時間の間が設定されている。各章の導入のページにおいて、年表を用いて単元の見通しをもつことができるように配慮している。	○	章、節、1単位時間ごとの構造化された間いを設定するのに加えて見開きにも節の問いを掲載し、見通しをもって学習に取り組むことができるようよく工夫している。
	○		○	「みんなでチャレンジ」がまとめのページなど随所に設定されており、協働的な活動を行うことができるように工夫している。	○	「身近な地域の歴史を調べよう」が設定されており、様々な専門家への聞き取り調査やグループで意見を共有することができるように配慮している。	○	章末の「章の振り返り」の中に「対話」マークを付けて章の問いを考察する場面を設定し、他者と話し合い、学び合うことができるように配慮している。	○	章末のまとめのページに、学習を振り返るための発問が準備されており、多様な人との学び合う学習を促すよう配慮している。	○	章末の「まとめと振り返り」などで段階的に複数の話し合う活動が「学び合い」マークを付けて設定されており多様な人と学び合うことができるように工夫している。
	○		○	コラム「もっと知りたい!」では生徒の多様な興味に応える33のテーマを取り上げ、学習内容を深めたり、広げたりすることができるように配慮している。	○	全ての特設ページに、学んだことを生かして、さらに学習を深めたり、考えたりするコーナー「TRY!」が設けられ、より詳しく探究できるように工夫している。	○	11テーマの特設ページ「歴史を探ろう」を設定し、豊富な資料と共に、様々な問いを掲載し、資料を基に主体的に探究できるように工夫している。	○	10テーマの特設ページ「歴史へのアプローチ」を設定し、豊富に掲載された様々な資料を読み解く活動を通して、歴史への興味を高めるように工夫している。	○	特設ページ「歴史を振り返る」では、7テーマを取り、歴史を学ぶおもしろさを体験できるように配慮している。
3 内容	○		○	日本国憲法について、三原則や大日本帝国憲法との比較、新・旧民法の変化、女性参政権など豊富な資料を掲載し、主権や人権についての理解を深めることができるように工夫している。	○	日本国憲法前文や「あたらしい憲法のはなし」を詳しく掲載するなど人権の尊重の理解ができるように工夫している。	○	日本国憲法について、GHQのポスターから人権の捉え方の変化を読み取る活動を設定している。	○	「歴史を考えよう」で大日本帝国憲法と日本国憲法の比較をまとめる活動があり、日本国憲法の人権尊重の理念が理解できるように配慮している。	○	日本国憲法の三原則や大日本帝国憲法との比較、女性の地位向上について、資料を掲載し、人権の尊重について理解できるように配慮している。
	○		○	歴史的分野の内容と、公民的分野の内容との関連を意識できるように、マークを付す工夫をしている。	○	他分野との関連を脚注で具体的に示す工夫をしている。	○	偶数ページ脚注に他分野との関連を明記する工夫をしている。	○	他分野との関連について把握できるように、マークを付したり、脚注で明記したりする工夫はされていない。	○	他分野との関連について把握できるように、マークを付したり、脚注で明記したりする工夫はされていない。
	○		○	「地域の歴史を調べよう」を随所に設けて、身近な地域の歴史調査の事例を取り上げ、実社会に関連付けて考えられるように配慮している。	○	「身近な地域を調べよう」では、過去と現在の資料を比較したり、名古屋に関する人物や事象を教材として取り上げたりすることで実社会とのつながりを理解できるように工夫している。	○	コラム「未来に向けて」においてSDGsについて意識させ、最終章「これからの社会を構想しよう」で実社会の課題について考察できるように工夫している。	○	「地域からのアプローチ」を随所に設けることで、歴史と現代社会の課題をつなげ、実社会について考えられるように配慮している。	○	「でかけよう！地域調べ」では、学んだことを踏まえて、実際に現地に行って学ぶことで実社会と関連付けることができるように配慮している。
4 タブレット端末の活用	○		○	本文で学習する内容と関連した特設ページ「もっと知りたい!」を設けて、補充的・発展的な学習に対応できるように配慮している。	○	全章に1テーマ以上の特設ページ「歴史を探ろう」を設定し、視点を変えた詳細な資料等を掲載して補充・発展的な学習に対応できるように工夫している。	○	特設ページ「アクティブ歴史」を設けて、具体的な5テーマを設定した学習を通して、補充的・発展的な学習に対応できるように配慮している。	○	見開きのページに深い学びを促す「ステップアップ」で多様な発問を設け、補充的・発展的な学習に対応できるように配慮している。	○	「歴史を振り返る」7テーマや「でかけよう！地域調べ」6テーマを設定し、補充的・発展的な学習に対応できるように配慮している。
	○		○	ほとんどのページにデジタルコンテンツのコードやマークを掲載して、日々の授業や家庭学習でもタブレット端末を用いて学習することができるように工夫している。	○	章末などに記載した二次元コードをタブレット端末で読み取って、関連付けたりリンクに接続し、必要な情報を得て学習することができるように工夫している。	○	章や節の冒頭に二次元コードを掲載し、タブレット端末を活用して内容に関連したデジタルコンテンツを利用することができるように工夫している。	○	掲載されている資料に関する二次元コード「くわく見てみよう」から、動画を視聴したり、詳しい資料を調べたりすることができるように配慮している。	○	ほとんどのページに二次元コードやタブレットマークがあり、デジタルコンテンツやデジタルツールを利用することができるように工夫している。
	○		○	本文は分かりやすい表現で、地図や写真などの資料を背景色を変えて見やすく配置するとともに、本文と資料に共通番号を記して関連付けることで読み取りがしやすいように工夫している。	○	年表などの資料を見やすく配置し本文と資料に共通番号を記して関連付けるとともに、本文と資料の背景色を変えて読み取りがしやすいように、よく工夫している。	○	豊富な資料と解説が本文の周囲に掲載されている。また、巻末折込にカラーの歴史年表があり、本文と関連させて学習できるように工夫している。	○	本文と周囲に配置した資料や解説を関連付けて、章の冒頭の年表と関連させたりして学ぶことができるように工夫している。	○	各ページの本文の周囲に複数の写真や資料を掲載し、本文と資料に共通の番号を記して関連付けることで読み取りがしやすいように工夫している。
6 印刷・造本等	○		○	UDフォントを使用し、資料については色覚特性のある生徒を含め誰もが読みやすい色の組み合わせにするなどの工夫している。	○	UDフォントを使用し、色覚の個人差を問わずより多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインを採用することで、誰もが読みやすいように工夫している。	○	UDフォントを使用し、色覚特性に配慮した識別しやすい配色として、誰もが読みやすいように工夫している。	○	UDフォントを使用している。また、資料はカラーユニバーサルデザインを採用し、誰にでも見やすいように工夫している。	○	UDフォントを採用し、カラーユニバーサルデザインの観点から資料を负担なく読み取ることができるように工夫している。

※ 着眼点ごとに、特に優れている教科書には評価の欄に○をつけています。

令和7年度使用教科用図書 調査専門委員会 調査研究報告書（種目名 社会・歴史的分野 2／2）

観点	発行者	自由社		育鵬社		学び舎		令和書籍	
		評価	特徴	評価	特徴	評価	特徴	評価	特徴
1	学習指導要領との関連		章の扉のページに登場人物と時代の流れを掲載し、前ページの時代までの流れと合わせて見ることで歴史の流れを大観できるように配慮している。		モンゴル帝国の広がりや要因について多様な資料を基に考えさせることで、元寇に至った流れを捉えることができるように配慮している。		章の扉ページに世界地図とテーマに基づく写真や絵を配置し、世界の歴史を背景に歴史の流れを捉えることができるように配慮している。		章の扉のページに中世の主な出来事について掲載し、章の構成を独自の区分として、歴史の流れを捉えることができるように配慮している。
			コラムにおいて遊牧騎馬民族の生活の様子を紹介することで、モンゴル帝国が現在とつながっていることを意識できるように配慮している。		元寇後の日本について、「探究」のアイコンを使って、元寇によって日本の社会にどのような変化があったのかを考察できるように配慮している。	○	奇数ページの下部にその時代に関わるコラムを掲載し、中世の歴史に関わる事象の意義や意義、伝統文化の特色などを捉えることができるように工夫している。		東方見聞録やフビライの国書などの文献資料を豊富に掲載し、歴史に関わる事象の意義や意義について着目することができるように配慮している。
		○	室町時代の文化として金閣や銀閣等を掲載するだけでなく、石庭に対する海外の評価を紹介して、文化遺産を尊重する自覚を高めるように工夫している。		室町時代の文化について、金閣や石庭、水墨画等を掲載するとともに、足利学校を本文と写真で取り上げて文化の発展に着目できるように配慮している。		室町時代の文化について、文化を生み出した人々の願いや社会の状況を描き、文化の発展や人々の生活の向上を理解できるように配慮している。		室町時代の文化について、建物や絵画の写真などの視覚的な資料の掲載は比較が少ないが、文章で詳細に説明する配慮をしている。
2	「コンパスぶらん（第4期名古屋市教育振興基本計画）」との関連		見開きに1単位時間の問いが設定されている。章末に「調べ学習のページ」を設定し、主体的に学習できるように配慮している。	○	章、節、1単位時間ごとの構造化された問いを導入の「鳥の目で見よう」の発問で、見通しをもって学習に取り組むことができるように工夫している。		絵画や写真などの資料が充実しており、資料を基に探究意欲を高めることができるように配慮している。		章と1単位時間ごとに問いを設定している。資料を基に興味をもったことを追究できるように配慮している。
			章のまとめのページにおいて時代を大観する発問を設け、意見交換会や時代を比較する活動を通して学び合うことができるように配慮している。		特設ページ「歴史にズームイン」の「TRY!」のコーナーや学習のまとめで、話し合う課題を設定することで、協働的な学びを促すように配慮している。		特設ページ「歴史を体験する」において、家族から戦争体験を聞き取って、学習をまとめるよう促すことで、多様な人と学び合うことができるように配慮している。		「考えよう」を随所に配置し、巻末に学んだことについてグループで話し合う「ディスカッションしよう」を設けて、協働的な学びを促すよう配慮している。
			コラム「もっと知りたい」において30テーマを設定し、随所に配置することで、探究的な学びができるように配慮している。		18テーマの特設ページ「歴史ズームイン」を随所に設けることで、学習内容を深めたり、興味をもって追究したりできるように配慮している。		7テーマの「歴史を体験する」で体験的な学習を紹介し、学習したことに関連する人物や事象を探究できるように配慮している。	○	豊富な文献資料や少数説を頭注・脚注、特設ページやなどで紹介することで、興味を引き、探究意欲を高めるように工夫している。
3	内容	(1) 内容の選択	日本国憲法の制定に係るGHQの関わりなどについて詳しく記載している。主権在民と交戦権の否定について理解できるように配慮している。		日本国憲法の三原則を明記し、大日本帝国憲法との比較や基本的人権に関する日本国憲法13条を掲載するなど人権の尊重について理解できるように配慮している。	○	「あたらしい憲法のはなし」を本文と資料で記載したり、生存権の保障について条文を掲載したりすることで、人権の尊重について理解できるように工夫している。		日本国憲法について、大日本帝国憲法の改正としての位置付けで取り上げ、GHQの関わりなどについて記載し、主権について理解できるように配慮している。
		(2) 内容の程度	他分野との関連について把握できるように、マークを付したり、脚注で明記したりする工夫はされていない。		他分野との関連について把握できるように、マークを付したり、脚注で明記したりする工夫はされていない。		他分野との関連について把握できるように、マークを付したり、脚注で明記したりする工夫はされていない。		他分野との関連について把握できるように、マークを付したり、脚注で明記したりする工夫はされていない。
		(3) 内容の構成	歴史学習の最後に震災や新幹線の歴史を取り上げることで、歴史学習を社会と関連付けて学習できるように配慮している。		巻頭に「日本の美の形」、巻末に「歴史植物図鑑」や「日本列島・歴史の宝庫」を設けており、歴史学習を社会と関連付けて学習できるように配慮している。		戦後の原水爆禁止運動について映画ゴジラを資料として取り上げ、核兵器の廃絶について、社会と関連付けて捉えることができるように配慮している。		巻末の「日本美術図鑑」において学習した内容に関わる様々な文化的資料を掲載することで、歴史学習と社会を関連付けて捉えることができるよう配慮している。
4	タブレット端末の活用		見開きのページに簡単な年表と発展的な設問「チャレンジ」を設けることで補足的・発展的な学習に対応できるように配慮している。	○	本文に記載された内容をより深める特設ページ「歴史ズームイン」やコラム「歴史ビュー」を多数掲載し、補足的・発展的な学習に対応できるように工夫している。		各ページに写真や絵画資料、文章などの多様な資料を掲載し、発展的な学習に活用できるように配慮している。		文献資料など詳しい資料が多く掲載するとともに課題「考えよう」を設定することで発展的な学習に対応できるように配慮している。
			デジタルコードの掲載はないが、特設ページ「日本人の名字の由来を助ねよう」にインターネットでの調査を促すように配慮している。		目次のページや各章冒頭に二次コードを記載し、動画を閲覧したり情報を収集することができるように配慮している。		デジタルコードの掲載はないが、特設ページなどでインターネットを活用して調べ学習を行う活動を設定する配慮をしている。		デジタルコードの掲載はないが、巻頭の「グループで歴史を調べよう」にインターネットを活用した調査を促す配慮をしている。
			本文を周囲に配置した豊富な資料や解説と共通の番号を記して、適切に関連付けながら活用できるように工夫している。	○	資料には見開きごとに通し番号を付け、本文の対応する箇所に番号を表示することで、読み取りがしやすいように工夫している。		本文中の重要語句や資料との関連に着目させる配慮は十分されていない。巻末年表が11ページあり日本と世界の動きを関連付けて理解できるように配慮している。		本文は縦書き、脚注や資料解説等は横書きとなっている。詳細な本文に対して、掲載されている資料との関連に着目させる工夫はやや少ない。
5	表記・表現及び使用上の便宜等		本文は明朝体、重要語句については太ゴシック体を使用している。資料が見やすく配置されており、イラストも交えて生徒の関心を引くように配慮している。	○	資料については色覚特性に対応できる色を使用している。UDフォントを使用し、誰でも読みやすいように工夫している。		判型についてはA4判で大きく、丈夫で開きのよいPBR製本を採用している。資料はカラーユニバーサルデザインを使用し色覚特性に対応できるように配慮している。		判型についてはA5判で比較的小さく、ページ数が多い。本文は白黒印刷。「巻末資料」「日本美術図鑑」はカラー印刷として、読みやすいように配慮している。
6	印刷・造本等		本文は明朝体、重要語句については太ゴシック体を使用している。資料が見やすく配置されており、イラストも交えて生徒の関心を引くように配慮している。	○	資料については色覚特性に対応できる色を使用している。UDフォントを使用し、誰でも読みやすいように工夫している。		判型についてはA4判で大きく、丈夫で開きのよいPBR製本を採用している。資料はカラーユニバーサルデザインを使用し色覚特性に対応できるように配慮している。		判型についてはA5判で比較的小さく、ページ数が多い。本文は白黒印刷。「巻末資料」「日本美術図鑑」はカラー印刷として、読みやすいように配慮している。

※ 着眼点ごとに、特に優れている教科書には評価の欄に○をつけています。

発行者	東京書籍		教育出版		帝国書院		山川出版		日本文教		自由社		育鵬社		学び舎		令和書籍	
	評価	特徴	評価	特徴	評価	特徴	評価	特徴	評価	特徴	評価	特徴	評価	特徴	評価	特徴	評価	特徴
大戦における日本とアジア諸国を中心とした世界との関わりについて分かりやすく取り扱っているか	○	21か条の要求や三・一独立宣言の条文と関連付けながら五・四運動や三・一独立運動について記載している。太平洋戦争における日本の動きや目的を地図や資料を関連させて捉えることができるように工夫している。	○	アジア諸国に与えた影響について、本文と側注などで記載している。太平洋戦争の開戦を報じる日米の新聞記事を対比させるなど世界との関わりを捉えることができるように工夫している。	○	太平洋戦争時の日本の動きと日本の占領政策について詳しく記載している。占領政策について、インドネシアの教科書の一節を紹介し、インドネシアの人々がどのように捉えているかを考えることができるように工夫している。		第一次世界大戦後のアジアの民族運動について、ヨーロッパ各国の動向と関連付けて記載している。当時、国民が満州事変をどのように考えていたのかを捉えられるように、アンケート結果を掲載している。		日本とアジア諸国を中心とした世界との関わりを本文と資料で取り扱っている。当時の日本と世界の様子について、世界地図をはじめ、様々な資料で示している。		日本とアジア諸国を中心とした世界との関わりについて本文や脚注などで詳細に取り扱っている。大東亜共同宣言や当時の人々の声など多くの資料を掲載している。		「歴史ズームイン」においてアジア諸国の民族運動について地図でまとめられている。国際連盟脱退の資料から当時の日本の世論が満州事変をどのように捉えていたのかを考えるとできるように配慮している。		第二次世界大戦について、15テーマ30ページ以上で、非常に詳しく取り扱っている。体験者の証言や当時の様子を伝える写真、新聞記事など資料を豊富に掲載している。		第二次世界大戦における大東亜共栄圏と東南アジア諸国の欧米からの独立を日指す動きについて詳細に記載している。戦艦大和や零戦のイラストなどの資料を豊富に掲載している。
身近な地域の歴史上の人物と文化遺産についての学びにつなげることができるよう工夫されているか		特設ページ「身近な地域の歴史」で、日本地図上に身近な地域の史跡・国宝・重要文化財などを詳細に示した大判の地図を掲載している。 米騒動について名古屋での様子を資料で掲載している。 「もっと知りたい」で杉原千敏について取り上げている。	○	「身近な地域の歴史を調べよう」で、地域の歴史を調べる多様な方法を記載する工夫をしている。 名古屋市内の昭和時代の鳥観図や、市政資料館、志段味大塚古墳などを取り上げた詳細な調査例が記載されており、地域との関連が理解できるように工夫している。		コラム「技能をみがく」を設けて、身近な地域を調べる方法について分かりやすくまとめている。 長篠合戦図屏風を大きく取り上げ、織田信長の戦い方を紹介するなど地域の人物について学ぶことができるよう配慮している。		特設ページ「地域からのアプローチ」で地域を追究する視点を紹介している。 徳川美術館所蔵の長篠合戦図屏風や米騒動の名古屋での様子を伝える資料、長興寺所蔵の織田信長の肖像画などの記載がある。	○	江戸時代の産業の発達で、半田の酢づくりを掲載したり、特設ページでトヨタ産業技術記念館と豊田佐吉を取り上げたりしている。 「でかけよう！地域調べ」において、興味・関心を高めるように工夫をしている。		巻頭の「地域の歴史を調べる」で、古墳時代から現代までの地域の歴史調査の例を詳細に記載している。 戦国時代において、長篠合戦図屏風を掲載している。 「第二次世界大戦の始まり」において杉原千敏についてコラムで掲載している。		「身近な地域の歴史の調べ方」では、調べる視点や歴史的な見方・考え方を踏まえて整理する方法を紹介している。 長篠合戦図屏風や米騒動を伝える資料を掲載している。 第二次世界大戦における杉原千敏の働きについてコラムで掲載している。	○	特設ページ「歴史を体験する 地域の歴史を歩く」で、調査の方法についての記載している。 名古屋の米騒動の様子や第二次大戦後の東山動物園の象列車について、本文と絵画や写真などの資料で興味・関心を高めるように工夫をしている。		巻頭の「グループで歴史を調べよう」では、身近な地域の調査方法について端的にまとめている。 巻頭の資料で、織田信長の動きについて「信長の領土拡張」として、詳細をまとめている。 第二次世界大戦における杉原千敏についてコラムで掲載している。
主権者の育成という観点から、民主政治の来歴や人権思想の広がりについて学ぶことができるよう構成されているか	○	自由民権運動について、様々な憲法草案や条文を掲載して、人権思想について考察できるようにしている。最終単元「新たな時代の日本と世界」で、高等学校での実際の投票の様子を写真で掲載するなど、主権者としての意識を高めるように工夫をしている。	○	大正デモクラシーについて、フランス人権宣言と水平社宣言を比較したり、現代までの全人口に占める有権者の割合の変化を掲載したりするなど、民主政治の来歴や人権思想の広がりについて学ぶことができるように工夫している。	○	自由民権運動や普通選挙について、「人権・多文化」のアイコンを付して、当時の思想家の紹介や第1回衆議院議員選挙の様子をコラムなどで掲載し、民主政治や人権の重要性を学ぶことができるように配慮している。	○	大正デモクラシーについて、民本主義に関する現代語訳史料や用語解説を掲載している。日本国憲法の内容だけでなく、制定にともなう法律改正や女性の権利についてまとめた資料を掲載するなど、人権意識の広がりについて学ぶことができるように工夫している。	○	特設ページで水産社の創立と様々な人権運動を、巻末「歴史との対話を未来に生かす」で政治参加の歴史をテーマとして取り上げるなど、人権思想や民主政治の広がりについて捉えることができるように工夫している。		大正時代では、資料で藩閥政治から政党政治への変化したことを示した資料や、日本や各国で女性に普通選挙が認められた時期をまとめた表を掲載するなど、民主政治の来歴や女性の権利の尊重について取り上げている。		自由民権運動について、五日市憲法草案をコラムで詳細に取り上げている。大正デモクラシーでは、政党内閣の成立について、歴代内閣の移り変わりについてまとめた資料を掲載している。		自由民権運動について、女性の参政权にも触れながら詳細に取り上げている。大正デモクラシーについて、第1回衆議院議員選挙当時の選挙ポスターを掲載し、民主政治の来歴について詳しく記載している。		ヨーロッパの市民革命について、フランス革命と啓蒙思想の関係について記載している。大正デモクラシーについて、吉野作造や美濃部達吉の資料を掲載し、当時の人権意識について捉えることができるようにしている。

13